

## 全校研修 平成30年度より令和2年度まで3年間

### 「キャリア発達を大切にした肢体不自由教育～どの子ども主体的に自分らしく生きるために～」

本校では、平成30年度から令和2年度までの3年間、「キャリア発達を大切にした肢体不自由教育～どの子ども主体的に自分らしく生きるために～」を学校研修テーマに研修を行った。肢体不自由単独設置の本校にとって、本校児童・生徒の実態を考えると、キャリア教育の視点で児童・生徒を見ることの難しさ（「キャリア教育」＝「ワークキャリア」ではなく、「ライフキャリア」の視点を重視していく必要性）が課題となっていた。

そこで学校研修テーマを上記のように設定し、その下に各学部、寄宿舎で研修テーマを設定、研修を進めていく方法で取り組んだ。

全体の取り組みとしては、1年目の平成30年6月22日には関西国際大学の梶正義教授に学校研修テーマに沿って講演をしていただいた。それを受けて、各学部及び寄宿舎では文献学習を進めていった。

2年目の令和元年6月28日には、梶教授に授業や寄宿舎での様子を実際に見ていただき、助言をいただいた。

令和2年1月7日には、全校中間発表会を行い、校内のみで各学部、寄宿舎の研修について情報交換を行った。

3年目の令和3年2月5日には、最終まとめとしてキャリア教育の視点を授業及び生活に活かした実践を発表し合った。新型コロナウイルス流行のため、リモートで梶教授に参加してもらい、助言をいただいた。今後、3年間の研修を経て、各学部が大切にしていきたいことを、キャリア教育全体計画に反映させていく予定である。

以下、各学部及び寄宿舎の、3年間の研修のまとめを児童・生徒の個人情報保護の観点から、抜粋した内容で掲載する。

小学部 「楽しむ力を大切にした授業作り」

「楽しむ評価表」(資料①)、 「関連図及び4つの力の表」(資料②)

中学部 「スモールステップを大切にし、自ら関わる力を育てる。」

「キャリアの視点に基づいた個々の生徒につけたい力」(資料①)

「指導略案の視点」(資料②)

高等部 「キャリア発達を大切にした肢体不自由教育～どの子ども主体的に自分らしく～」

寄宿舎 「寄宿舎のキャリア教育 ～ライフキャリアを意識した取組～」

寄宿舎補足資料